

『うちどくBOOKリスト』掲載リスト

No.	作品名	作者	出版社	紹介文
1	いそがしいよる	さとう わきこ // さく・え	福音館書店	星があんまりきれいなので、ばばあちゃんは外で星を見ながら寝ようと思い立ちます。ベッドを持ち出し、テーブルを持ち出し、そして最後には…。ばばあちゃんのいそがしいよるのおはなしです。
2	300年まえから伝わる とびきりおいしいデザート	エミリー・ジェンキンス // 文 ソフィー・ブラッコール // 絵 横山 和江 // 訳	あすなろ書房	おかあさんも、おばあちゃんも、そのまたおばあちゃんも食べていた、とびきりおいしいデザートの作り方とは？おばあちゃんたちはどのように作っていたのかな？イギリスで生まれたブラックベリーフルをとおして、時代や環境、家族4世代の変化をめぐる絵本。
3	くらやみきんしの国	エミリー・ハワース＝ブース // さく おおつか のりこ // やく	あかね書房	くらやみがこわい王さまは、国じゅうのくらやみを禁止したい。みんながくらやみがいやだと思わないとうまくいきません。そのために大臣はみんなが逆らわないように、うわさを流しはじめました。おかしなさをユーモラスに描き、何が大切なかを教えてくれる絵本。
4	しりとりのだいすきなおうさま	中村 翔子 // 作 はた こうしろう // 絵	鈴木出版	あるお城に、しりとり大好きな王様が住んでいました。王様は食事もしり通りの順番どおりに出てこないと気が済みません。最後は必ずプリンで終わらせないとはいけませんが…。しりとりをしながら楽しく言葉を覚えることができる絵本。
5	ステラとカモメとプラスチック	ジョージナ・スティーブンス // 作 イジー・パートン // 絵 いとう のぶこ // 訳	岩崎書店	仲良しのカモメのミューちゃんが、ある日プラスチックを飲み込み入院することになった。そこで、海辺をきれいにするために、おそうじパーティをすることにしたステラ。環境問題をとおして小さな一歩を踏み出すことの大切さに気付かせてくれる絵本。
6	ちいさいおうち	ばーじにあ・リー・ばーとん // ぶんと えいしい ももこ // やく	岩波書店	静かな田舎の丘の上にあるちいさいおうち。自然に囲まれて幸せな日々を送っていましたが、周りに工場が建ち、電車が通ってにぎやかな街になるにつれ、ちいさいおうちは以前の景色を懐かしそうように…。自然を大切にすることを育む絵本。
7	大ピンチずかん	鈴木 のりたけ // 作	小学館	牛乳をこぼしちゃった！大ピンチだ！この大ピンチレベルはいくつかな？この大ピンチはどのくらいなりやすいだろう？失敗は当たり前で、誰もが経験するものだというところを、おもしろく描かれています。これから起きる大ピンチの準備ができるかもしれません。
8	ハコフグのねがい	さかなクン // さく・え	講談社	はじめは自分に自信が持てなかったハコフグちゃんが、広い海でいろんな生き物と話すことで大切なことに気づきます。自分を見つめ直し、人との違いを認める自信を持たせるとともに、自然科学や生き物への興味が深まる絵本。
9	ぼくのニセモノをつくるには	ヨシタケ シンスケ // 作	ブロンズ新社	やりたくないことをぼくのニセモノにやらせよう！と考えたけど。お手伝いロボットに代わりになってもらおうと思いますが、それには「ぼくとはどんな人か」を知ってもらわなきゃならなくて…。「自分とは何か」を見つめ直す絵本。
10	ミライノイチニチ	コマツ シンヤ // 作	あかね書房	未来の小学生ミライくんの1日を描いた絵本。はるか未来の小学生は、いったいどんな生活をしているのかな？未来への想像が広がる絵本です。

11	まよなかのせんろ	鎌田 歩 // 著	アリス館	みんなが寝静まった、真夜中の線路。普通の電車が動いていない時間に、線路を直すお仕事をする特別な車両があります。線路を守る車両マルチブルタイタンパーと働く人たちの絵本。
12	わたしのそばできいていて	リサ・パップ // 作 菊田 まりこ // 訳	WAVE出版	国語の時間が苦手。わたしがつかえたりするとみんなが笑うから。でも図書館であつた犬は、わたしが本を読んであげるとしずかに聞いてくれた。「まちがえたって、ゆっくりだって、だいじょうぶなんだよ」って教えてくれた。外国の図書館に実際にいる犬たちとの物語。
13	大どろぼうホッツェンプロッツ	オトフリート＝プロイスラー // 作 フランツ・ヨーゼフ・トリップ // 絵 中村 浩三 // 訳	偕成社	ドイツのとある町にホッツェンプロッツという大泥棒がいました。盗まれてしまったコーヒーひきを取り返すために立ち上がる二人の少年カスパールとゼツペル。しまいには大魔法使いまで出てきて…。一度読み始めたら、最後まで読み進めてしまう面白さが魅力の一冊です。
14	こぶたのピクルス	小風 さち // 文 夏目 ちさ // 絵	福音館書店	ピクルスは元気な男の子。お母さんやお父さん、牛の牛乳屋さんやロバのパン屋さんなど、みんなと毎日おしゃべりして楽しそう。おつかいだって一人で行けます。今日はどんなことがあったかな？子供の楽しい毎日を一緒にふりかえってみたいと思わせてくれます。
15	銀河鉄道の夜 10歳までに読みたい日本名作1	宮沢 賢治 // 原作 芝田 勝茂 // 文 戸部 淑 // 絵 加藤 康子 // 監修	Gakken	日本人なら一度は読んでおきたい日本の名作を、小学校中学年に向けて読みやすくしたシリーズの一冊。名作文学の入口として最適です。オールカラーの挿絵付き。
16	世界一の三人きょうだい	グードルン・メプス // 作 はたさわ ゆうこ // 訳 山西 ゲンイチ // 絵	徳間書店	小学生の女の子マキシは、まだおむつの取れない弟といっしょに、大学生のお兄ちゃんのアパートで暮らすことに。年がはなれても仲良しな三兄弟のてんやわんやな一週間のお話。
17	せかいいちのねこ	ヒグチ ユウコ // 絵と文	白泉社	男の子に大事にされているねこのぬいぐるみのニャンコ。ずっと大事にされたくて、本物のねこになろうと、ねこのひげを集めに出かけ、いろいろなねこに出会いますが…。ニャンコは本物のねこになれるのでしょうか。
18	ウソみたいだけど実在する！世界のめっちゃスゴい国		JTBパブリッシング	世界には、大人も子どももびっくりするようなめっちゃすごい国がたくさんあります。カレーを手づかみで食べる国や、ガムをかんだら罰金を取られる国など、人種や習慣、文化の違いなど世界の多様性を楽しく学べます。
19	ワニのガルド	おーなり 由子 // 作・絵	偕成社	ヒナちゃんはいっことしたばかりで、まだクラスになかのいい子がいません。朝、歯みがきをしようとしたとき、歯ブラシがなんと小さなワニだったのです。さびしい人にしか見えない、おばけワニのガルドとでかい、大切な人がいること、そのあたかさを教えてくれるお話です。
20	大人も知らない！？SDGs なぜなにクイズ図鑑	笹谷 秀光 // 監修	宝島社	最近よく聞くSDGsって何？「サステナブル」ってどういう意味？など、世界を変えるみんなの目標SDGsが楽しく学べます。45のクイズがあり、イラストを見ながらSDGsが楽しくわかります。今日から自分のできるアクションガイドを見て、家族でチャレンジしてみましょう。

21	クイズで国語が好きになる！！ことばの由来	丸田 博之 // 監修	小学館	いろいろな言葉の由来を、クイズ形式で楽しく知ることができる本。4コマまんががちょっとした豆知識も掲載。
22	ざんねんないきもの事典	今泉 忠明 // 監修 下間 文恵 // 絵 徳永 明子 // 絵 かわむら ふゆみ // 絵	高橋書店	生物は環境に適応しながら進化してきた…。じゃあなんでこんなざんねんな進化をしてしまったの！？ちょっとざんねんないきものたちの進化のふしぎをイラストともに紹介する。
23	警察犬になったアンズ	鈴木 博房 // 著	岩崎書店	飼い主に捨てられて殺処分になりそうだったトイプードルのアンズ。ベテラン指導士に引き取られ、警察犬のシェパードたちと一生懸命に訓練を受けて、警察犬を目指します。命の大切さや夢を諦めずに努力する姿勢を学べる本。
24	ルールびっくり事典	こざき ゆう // 文 カケヒ ジュン // 絵	ポプラ社	世界の国々には、私たち日本人がびっくりしてしまうルール、法律がいっぱいあります。なぜそのような法律ができたのか、時代や文化的な背景を交えながら解説しているので、世界の国をもっと深く、よりおもしろく学べます。